

宮城県感染症発生動向調査情報(第33週)

宮城県【平成26年08月21日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

— 2014. 8. 11 ~ 8. 17 ・ 第33週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							宮 城 県 (含む仙台市)						
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第30週	第31週	第32週	第33週
水痘			1			1		9	11	1,340	○→	レ→	→	
流行性耳下腺炎	1				2	1	1	1	6	431	レ→	→	→	
百日咳	1							1	0.02	7	→	→	→	
感染性胃腸炎	47	14	11	6	10	12		25	125	14,004	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病	1					1		7	9	176	→	→	→	
伝染性紅斑	3		1		4	17		2	27	1,721	◎→	◎→	◎→	○
突発性発しん	2	4	2		1	5	2	6	22	1,243	○→	○→	○→	レ
ヘルパンギーナ	8	13	15	14	29	49	3	14	145	779	◎→	◎→	◎→	◎
インフルエンザ											→	→	→	
咽頭結膜熱	2		1		1	2		1	7	481	レ→	→	→	
流行性角結膜炎								1	1	94	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	2	1		1	13		7	25	4,094	◎→	◎→	◎→	○
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎			1	4			3	2	10	283	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症						1		2	3	384	→	→	→	
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		6			1	3				◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向			
	川崎病										【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/			
	不明発疹症							3						
感染性胃腸炎(ロタウイルス)※										52				

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

今週の全数報告疾病

1類感染症: 報告なし	※男児、女児は6歳未満	
2類感染症: 結核	塩釜管内	男性1名(第30週)
	大崎管内	男性1名
	気仙沼管内	女性1名
	仙台管内	男性1名(第32週)、男性3名
3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)	仙南管内	男性1名、女性1名
	栗原管内	女性1名
	仙台管内	女性1名
	腸管出血性大腸菌感染症(O111)	
	登米管内	男児1名*
4類感染症: 報告なし		
5類感染症: 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	仙台管内	女性1名(第32週)
	後天性免疫不全症候群	
	仙台管内	男性1名(第32週)、男性2名

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

- 【伝染性紅斑】
登米、石巻管内で警報継続中。
- 【ヘルパンギーナ】
石巻管内で警報値を超えた。
栗原、登米管内で警報継続中。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

ヘルパンギーナ患者より	栗原管内	第30週採取分	コクサッキーウイルス(A4型)	4件
			ヒトパレコウイルス1型	1件
			ライノウイルス	1件
	登米管内	第32週採取分	コクサッキーウイルス(A4型)	2件
			コクサッキーウイルス(A10型)	2件
腸管出血性大腸菌感染症患者より	登米管内のO111関連	第33週採取分	O111	3件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第31週採取分 (7.28～8.3)	第32週採取分 (8.4～8.10)	第33週採取分 (8.11～8.17)
バライフルエンザウイルス1型	5件	1件	0件
バライフルエンザウイルス3型	7件	3件	0件
ヒトメタニューモウイルス	1件	0件	0件
RSウイルス	4件	2件	2件
アデノウイルス	1件	1件	0件
ライノウイルス	2件	0件	0件
サイトメガロウイルス	1件	0件	0件

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第31週)

(国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(1.19)、山口県(0.13)、福岡県(0.08)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は4例と前週と比較して減少し、4県から報告があった。**RSウイルス感染症:** 報告数は446例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約78%を占めている。**咽頭結膜熱:** 定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は宮城県(1.19)、北海道(1.13)、静岡県(1.04)である。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:** 定点当たり報告数は第23週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は島根県(1.83)、新潟県(1.79)、福岡県(1.73)である。**感染性胃腸炎:** 定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は大分県(7.06)、島根県(5.78)、鹿児島県(5.75)である。**水痘:** 定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別の上位3位は福井県(2.14)、宮城県(1.28)、大分県(1.03)である。**手足口病:** 定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別の上位3位は福岡県(4.12)、石川県(4.10)、大分県(3.67)である。**百日咳:** 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は鳥取県(0.37)、沖縄県(0.29)、広島県(0.06)である。**ヘルパンギーナ:** 定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は長野県(8.87)、山形県(8.47)、新潟県(7.92)である。**マイコプラズマ肺炎:** 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は富山県(1.40)、青森県(1.17)、石川県(0.60)である。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る):** 定点当たり報告数は第21週以降減少が続いている。5都県から5例報告があり、年齢別では0歳(2例)、1～4歳(3例)であった。

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。()内数字: 定点当たり報告数